

帝国主義時代

◎背景

産業革命によって、工業が発達した結果、資本の投下や植民地の開発などが必要になってきた。

↓このような

先進資本主義国の対外進出政策を帝国主義といい、これを推し進める国々を列強といった。

◎まとめ

国	帝国主義政策
イギリス	・1875年 インド(カルカッタ)への中継地点としてエジプト(カイロ)を重視し、スエズ運河株を買収 ・1877年 インド帝国(インド植民地の呼称)樹立 ・更に南アフリカ共和国(ケープタウン)を支配し、イギリスはアフリカの縦断政策を進めた。 ※カイロ、カルカッタ、ケープタウンの頭文字をとってこの3つの三角形の範囲をイギリス勢力の範囲下に置こうとした政策を3C政策と呼ぶ。
フランス	・1830年 アルジェリアを占領し、アフリカ北西部に進出する。 ・フランスはアフリカの横断政策をとり、スーダンにはいると、イギリスと対立して、ファショダ事件が起きた。 ※ドイツの進出を恐れ両国は英仏協商を結び、モロッコをフランス、エジプトをイギリスの優越権とした。